

平成22年10月27日

## 学生支援の充実した取り組みについて

広島大学では、修学支援・経済支援など充実した学生支援体制を整えています。

### 【留学応援奨学金による「第1回STARTプログラム」が終了】

9月5日から14日まで、第1回STARTプログラムを実施しました。これは広島大学基金からの援助により、渡航費や滞在費の一部を大学が負担する経済支援を行う海外派遣プログラムです。

海外経験の少ない学部1年生20名が、3名の教職員に引率され、オーストラリアで10日間の研修を体験しました。派遣期間中は、ラ・トローブ大学（大学間協定校）を拠点とし、現地学生との交流や、現地教員による授業、アボリジニ文化の体験学習などを行いました。

参加した学生は、英語学習や留学、国際交流に積極的に取り組む意欲が増しただけでなく、オーストラリアの多文化社会を実際に体験したことで、異文化理解や多文化共生についての意識が高まりました。

また、現地の学生との交流を通し、これまで自分が持っていた価値観を根底から揺るがせられる経験をしたり、ヒロシマからの訪問者としてもっと世界の平和に敏感になるべきであることを気づかされたり、現地学生の質問に答えられない悔しさから日本のこと、広島大学のことをもっと知らなければと反省したり・・・等、まさに得難い経験を通して一回りも二回りも成長して帰国しました。

今後もこのプログラムを継続により、より多くの学生たちに機会を提供し、近い将来世界に羽ばたいて行ってくれる学生が増えることを期待しています。

\* *Study Tour Abroad for Realization and Transformation*

#### 【お問い合わせ先】

国際センター  
国際交流グループリーダー 宮脇 克也  
TEL:082-424-6041、FAX:082-424-6179

## 【10月から 学生プラザの受け付けに 初めてフェニックス・アシスタントを採用】

フェニックス・アシスタント（PA）は、本年度創設した学内アルバイト学生の呼称です。

図書館の受け付け業務などにはすでにPAを雇用していますが、今回初めて学生プラザの受け付け業務に10人を採用しました。当面は学生プラザ開館時間の受け付け業務は、PAと職員との合同で行いますが、将来は全てPAが行う予定です。

PA制度は、在学生に学内（近距離）でのアルバイトを提供することにより、経済的支援を実現するとともに学生の学習時間を確保することが大きな目的です。また学内における就業経験の機会の提供、学生の視点による大学運営の活性化も目的の一つです。

学生プラザの受け付け業務をPAが担当することで、学生主体の施設運営を目指す学生プラザにおいて、学生同士の交流がますます活発化することを期待しています。

### 【お問い合わせ先】

教育室 教育支援グループリーダー 山根 清 TEL:082-424-6151、FAX:082-424-6170
---